

## 陳 情 文 書 表

平 2 2 陳 情 第 3 2 号	平成 2 2 年 1 1 月 1 2 日 受 理
件 名	非核三原則の法制化を求める議会決議・意見書採択の陳情
陳 情 者	横浜市神奈川区西神奈川 1 - 8 - 1 3 山崎ビル 2 - A 神奈川県原爆被災者の会 会長 田栗 末太 秦野市曲松 1 - 8 - 5 0 秦野市丹沢やすらぎの会 会長 廣石 嘉乃
陳 情 の 原 文	
<p>陳情趣旨</p> <p>広島・長崎の被爆から、65年目を迎えました。</p> <p>人類がつくり出した最も残忍な兵器、核兵器による地獄を体験させられた私たちは、今日まで、自らの命を削る思いで被爆体験を語り、核兵器による犠牲者が二度と生まれぬことを強く願って、運動を続けてきました。この地球上から核兵器をなくすことは、私たち被爆者の悲願です。</p> <p>その願いに、今、一筋の光が見えてきました。核兵器を使用した唯一の国であるアメリカ合衆国オバマ大統領が、核兵器のない世界を追求していくことを明言したのです。</p> <p>今こそ日本は、核兵器を落とされた唯一の国として、核兵器の廃絶に向けて主導的役割を果たすべきです。</p> <p>そのために、私たち被爆者は、非核三原則の法制化を求めます。</p> <p>つきましては、この願いが、被爆者のみではなく、国民的意義があることを御理解いただき、貴議会が非核三原則の法制化を促す決議を採択され、関係機関に対し意見書を提出していただけるよう陳情いたします。</p> <p>陳情事項</p> <p>1 非核三原則の法制化を促す決議を採択し、関係機関に対し意見書を提出すること。</p>	